

売店もリニューアルしました

正面ゲートに程近い売店がリニューアルオープンしました。2倍近くの面積に拡大された店内は、ベビーカーや車椅子のお客様も快適に買い物が楽しめるようになりました。従来の【日用雑貨コーナー】【文具コーナー】【おもちゃコーナー】は更に内容が充実し、大人も子どもも欲しくなる＆使いたくなるグッズが目白押しとなっています。平川動物公園でしか買えないオリジナルグッズも増えました。



人気の商品はコレ！

■お土産菓子

平川動物公園オリジナル
『ミルクココアクッキー』
(12枚入り)¥650

開けてビックリ！フタを開くと動物たちが飛び出します！！動物公園近くの地元メーカーが心を込めて作っています



■ストラップ

『ホワイトタイガーバースデーストラップ』
¥430

12か月の誕生月によって色が違います！あなたの誕生月は何かない？



■ぬいぐるみ

『めちゃラブ』
M(コアラ＆ホワイトタイガー)
¥1,480

Love Love 絶対離れない！いつも一緒だよ！！コアラ＆ホワイトタイガーは平川動物公園の2大スターです



思わずクスッと笑ってしまったり、ほっこり和んでしまったり、見ているだけでも楽しくなるお店です。ぜひお気軽にお立ち寄りください！

 鹿児島市平川動物公園

〒891-0133 鹿児島県鹿児島市平川町5669-1
TEL.099-261-2326 FAX.099-261-2328
■開園時間：午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで)
■休園日：12月29日～1月1日
URL <http://hirakawazoo.jp/>
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/hirakawazoo>
Twitter <https://twitter.com/hirakawazoo>

動物取扱業の種別：展示 登録番号：生衛動取 第357号 登録の年月日：H28.5.11
有効期間末日：H33.5.11 動物取扱責任者：桜井普子

携帯サイトへアクセス！



編集・発行

 公益財団法人
鹿児島市公園公社

〒892-0816 鹿児島市山下町15番1号
TEL.099-221-5055 FAX.099-223-5690
URL <http://k-kouenkousya.jp>
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/k.kouenkousya>

ず〜 Zooっと平川



特集1

新しい施設が完成しました！

特集2

かごしまの動物ゾーン飼育員の一日

新しい施設が完成しました!

平成21年度から7年計画で進められてきたリニューアル整備。平成28年4月1日に「どうぶつ学習館」
「ふれあいランド」が新たにオープンしました。

新しいふれあいランドがオープンしました!



入園ゲートからアシカ池の方に下り、リス橋を渡った先にあります。ふれあいランドは、カイウサギ・テンジクネズミ(モルモット)がいるタッチングコーナーと、トカラヤギ・ヒツジ(サフォーク種)・トカラウマ・ロバがいるふれあいコーナーからなります。

開催時間
10:00~11:30
13:30~15:00

タッチングコーナー



雨天時でもふれあい可能なように、屋根が大きくなりました!



室内展示場はタッチング時間外もご覧いただけます。



ウサギ・モルモットのタッチングコーナーはかわいいウサギの看板がお出迎え。



こちらはカイウサギ。背中あたりをやさしくさわることができます。ウサギの毛は、柔らかくてふわふわしています!



そしてテンジクネズミ。イスに座り、膝の上に乗せてさわることができます。心臓の動きが手に伝わりますよ。



ふれあいコーナー



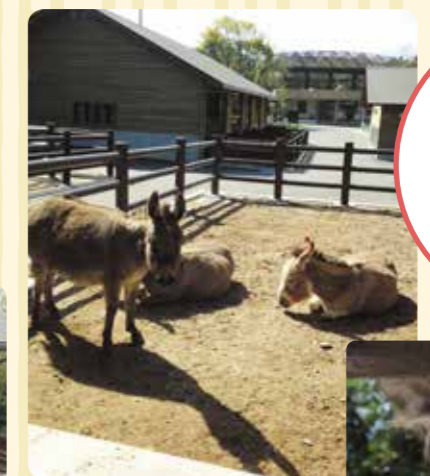
ふれあいコーナーには、ヤギ・ヒツジがいる広場に入り、ふれあいを楽しむことができるエリアがあります。

ふれあいコーナーの先には、トカラウマとロバがいます。

トカラウマは、鹿児島県の天然記念物に指定されており、トカラ列島原産の、日本に移入された在来馬の一種です。動物園で飼育されているのは当園を含めて2園しかありません。とても貴重な、鹿児島を代表する動物です。リニューアル前は日がわりで1頭ずつしか展示できませんでしたが、放飼場が2つになったため、2頭一緒に見ることができるようになりました。兄弟のコタロウとカケルがいます。仲良く柵越しに遊ぶ姿も見られるかも!



◀トカラウマのコタロウ(手前)とカケル(後方)



ロバも人懐っこく、名前を呼ぶと柵の近くまで来てくれることも!



広場にいる動物たちは、メスとその子どもたちです。性格も穏やかで、さわられるのが好きな動物たちは近づいてきてくれます。ヤギとヒツジ、また、大人と子ども、さわり心地が違います。実際に感じる事ができるのもふれあいコーナーの魅力です。

開催時間
9:30~11:30
13:30~15:30

ふれあいランドはこの春、ベビーラッシュでした。ふれあいデビュー間近の子どもたちもいます!温かく見守ってください!

▼カイウサギ



▼テンジクネズミ



▼ヒツジ(サフォーク種)



▼ヤギ(トカラヤギ)



楽しく学べる!!

どうぶつ学習館がオープンしました!!

かわいい、動きが面白いなど、動物を観察していると感じることはたくさんあると思います。世界中の様々な動物たちを間近で観察することができる動物園では、動物の生態、体のつくり、そして彼らが生息する環境について正しく知ってもらうことが大切です。その役割を担うための施設が、この「どうぶつ学習館」。

白雪姫の時計台の後に構えています!▶



どうぶつ学習館には、1つのホールと4つの部屋があり、親しみやすいように、動物の名前を付けました。

コアラホール

生き物や環境に関する1,000冊以上の本があり、自由に読むことができます。動物を観察して疑問に思ったことなどを調べてみては?また、絵本の読み聞かせやスタッフによる解説など、休憩しながら気軽に参加できるイベントを行っています。



ゾウの部屋・キリンの部屋

この二部屋には音響設備が備っており、イベントや団体向けの講座で使用しています。仕切りを外せば最大200名入ることができますので、学年全体での受講も可能です。また、雨天時は昼食会場として開放していますので、昼食場所の心配がなくなりました!



ホワイトタイガーの部屋

現在は「ひょうほんかんさつ標本観察&タッチング」を開催しています。標本を手にとり、観察しながら動物の体のつくりについて知ることができます。標本数を少しずつ増やしていきますので楽しみに!



▲職場体験中の中学生。標本の解説にチャレンジ!

ルリカケスの部屋

館内で一番小さな部屋ですが、少人数制のワークショップや企画展を開催しています。少人数制のワークショップは、スタッフとの距離も縮まり、普段聞けないことも聞きやすくして会話も弾みますよ!



ホワイトタイガーの部屋とルリカケスの部屋は、職場体験や実習を行う学生・生徒の皆さんや、現在研修中のボランティアスタッフの活動の場となります。活躍にご期待ください!

そして、多目的トイレやベッドとソファ付の授乳室じゅにゅうしつもあります。オムツ替え用のベッドや給湯器きゅうとうきも完備していますので、授乳やオムツ交換を快適に行うことができます。小さなお子様連れの方はぜひご利用ください。



4月1日のオープンから、多くの方にご来館いただいています。動物のことをより楽しく知っていただくために、イベントや展示を充実していきますので、ぜひ遊びにいらしてください。皆さんのご来館をお待ちしています!

※イベント案内は平川動物公園ホームページ、ツイッター等でご覧ください。
※団体向けのプログラムや各種実習については、平川動物公園 教育普及係までお問合せください。

飼育員の一日

かごしまの動物ゾーンの動物たち



かごしまの動物ゾーンの巻

平川動物公園には鹿児島に生息している動物がたくさんいます。彼らのお世話をする飼育員の一日を見てみましょう。

ある日のスケジュール

飼育担当者:佐々木、若松
私たちが2人で担当しています。その他にはアフリカタテガミヤマアラシ、猛禽類、は虫類、夜行性動物などを担当しています。

- 8:15 朝の巡回と観察
- 8:25 ルリカケスのエサ作り
- 8:30 イノシシ、タヌキ、キツネの放飼
寝室の掃除
- 9:00 ヤマアラシの放飼
寝室の掃除
- 9:30 フクロウ、コシジロヤマドリ、エラブオオコウモリ、アナグマの掃除
ルリカケスの掃除と給餌
- 10:00 は虫類・夜行性動物館の掃除
- 11:00 猛禽舎の掃除
- 11:30 タヌキ、キツネ、アナグマ、猛禽類、は虫類のエサの肉切り

- 12:00 昼休み
- 13:00 ミーティング
- 13:30 は虫類・夜行性動物、かごしまの動物ゾーンの動物たちのエサ作りと給餌
- 15:00 猛禽類への給餌
- 15:30 看板の更新などの臨時作業
- 16:00 ヤマアラシの収容と給餌
放飼場の掃除
- 16:20 イノシシ、タヌキ、キツネの収容と給餌
放飼場の掃除
- 16:40 は虫類・夜行性動物館の閉館作業
- 17:00 日誌の記入



かごしまの動物ゾーンの動物たち

- ルリカケス…オス2羽、メス1羽:東京都恩賜上野動物園より来園
- コシジロヤマドリ…オス・メス各1羽:千葉県より来園
- ホンドタヌキ…オス2頭(マイ、ヤクン)、メス1頭(ヒデミ):保護個体
そして今年の5月21日生まれの3頭の子どもたち!



▲コシジロヤマドリのおス



▲生後2日。お母さんの近くでスヤスヤ…



▲生後1ヶ月。巣から出てくるように!

- ホンドギツネ…オス1頭(ボール)
- ニホンアナグマ…オス1頭(ナナスケ):保護個体
- エラブオオコウモリ…オス2頭の兄弟(1頭は夜行性動物館内)
- トビ…1羽(ビイト):保護個体
- キュウシュウフクロウ…3羽:保護個体
- リュウキュウコノハズク…2羽:保護個体



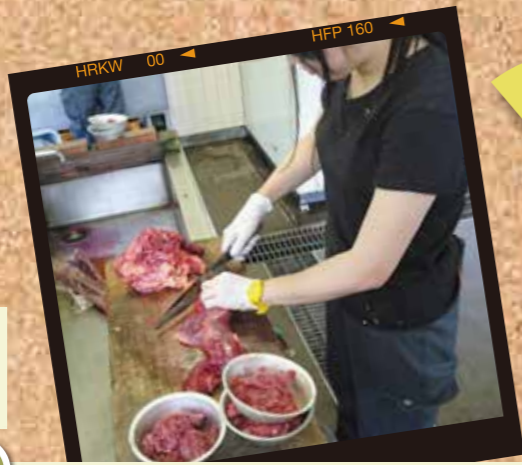
▲天井に注目!!



▲小型のフクロウです。

7

もうきんしゃ
11:00～猛禽舎の掃除
前日の食べ残しなどを掃除します。



9

12:00～昼休み
午後もしっかり動くため
にご飯を食べて休憩し
ます。

16

16:40～は虫類・夜行性
動物館の閉館作業
しっかり戸締り。みんな、また明日ね。



18

退社
今日の仕事は終了です。
明日も頑張ってお仕事
しよう。

8

11:30～タヌキ、キツネ、アナグマ、猛禽類、
は虫類のエサの肉切り
馬肉や鶏肉などさまざまな種類の肉を与えます。

11

13:30～は虫類・夜行性動物、
かごしまの動物ゾーンの
動物たちのエサ作りと給餌
夕方のエサを準備します。



10

13:00～ミーティング
全体での情報共有をします。

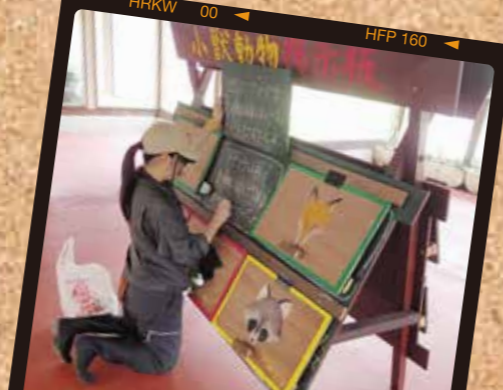


15

16:20～イノシシ、タヌキ、
キツネの収容と給餌、放飼
場の掃除
イノシシは他の動物が食べないサツマ
イモの切れ端など、園内で余った野菜
を食べる食いしん坊です。

14

16:00～ヤマアラシの
収容と給餌、放飼場の掃除
おなかをすかせて帰ってきます。エサを
食べている様子を観察して、普段の様
子と変わらないかを確認します。



12

15:00～猛禽類への給餌
日替わりで肉や魚などを与えます。



13

15:30～
看板の更新などの臨時作業
イノシシ舎前にはタイムリーな話題を提
供する看板があります。各動物の担当
者が情報を更新しているので、ぜひ見て
てください。

飼育員からひとこと

かごしまの動物ゾーンは、実をいうと素通りされてしまうことの多いエリアです。もしかすると少し地味かな…なんて思う方もいらっしゃるかもしれませんが、そんなことはありません！鹿児島県には南西諸島もあり、多種多様な動物が生息しています。見慣れているように感じるかもしれませんが、じっくり観察をすれば新しい発見があるはずですよ。ぜひ間近で観察し、日本産の身近な動物に愛着を持って、何度でも会いに来てください。また、かごしまの動物ゾーンで私たち飼育員を見かけたら気軽に声をかけてください。飼育員ならではの裏話をさせていただきます。

担当者: 佐々木、若松

かごしまの動物ゾーンの豆知識

「実はほとんどの動物が年齢不詳!？」

かごしまの動物ゾーンにいる動物たち。実はほとんどの個体が野生から保護されてきた動物たちなので、私たち飼育員でもこの動物が何歳なのか、どこで生まれたのか、兄弟はいたのか…など、何もわからないのです。

①なぜ動物園にやってきたか

交通事故にあたり、場合によっては犬だと勘違いされて人が途中まで育ててしまったり、理由は様々です。このような動物たちは、野生復帰が難しいのが現状です。ケガをすると自力でエサを捕れなくなってしまいますし、一度人に慣れてしまうと仮に山に返したとしても、人里に下りてきてしまう可能性もあります。

②保護された後は。そして、動物たちにできること…

もちろんまずは野生復帰を目指しますが、それが難しいと判断された場合、動物園で一生涯を過ごします。しかし、動物園も収容スペースには限りがあり、無限に動物たちを受け入れられるわけではありません。かごしまの動物ゾーンにいる動物たちは、皆さんも普段見かけることのある身近な動物だと思います。彼らが動物園に保護されなくても、野生のままに元気に暮らし続けられるよう、自然を大切に、動物たちをそっと見守ってあげてください。



保護されたフクロウ。目をケガしています



つばさ
翼をケガし保護されたトビ



草むらで休んでいたところを迷子と間違えられたキュウシュウノウサギ。親元に返すことができなくなりました…

アマミノクロウサギを保護しています

徳之島にて保護されたメスのアマミノクロウサギが2016年2月に来園しました。保護の経緯や現在の様子について紹介します。



▲来園直後の様子。まだ小さく幼さが残ります。小さな耳とずんぐりした体の特徴です



▲出血しうずくまっていたところを保護されました
写真提供：NPO法人 徳之島虹の会



▲毎朝、流動食を与えて
体重測定を行っています

▲定期的に麻酔下で歯の状態確認も
行っています



▲5月に撮影したボマ。随分凛々しくなりました

治療継続のため一般公開はしていませんが、ボマについての近況やアマミノクロウサギについての情報を発信するコーナーをどうぶつ学習館に設けていますので、ぜひお立ち寄りください。

※活動の一部にJAZA(公益社団法人日本動物園水族館協会)の野生動物保護活動助成事業の助成を受けています。

こんな動物

鹿児島県奄美大島と徳之島のみで生息する国の特別天然記念物。島という隔離された環境で、独自の進化をとげた「生きた化石」とよばれている。

2015年12月13日の夜、徳之島町の母間集落の道路上でうずくまっていたところを発見されました。発見者は地元NPOで野生生物の保護にも携わっている池村茂氏。すぐに環境省徳之島自然保護官事務所、徳之島動物病院へ連絡し応急処置が行われました。翌日には奄美大島からも獣医師が駆けつけ、奄美大島の動物病院へ移送されました。

この個体は母間集落で保護されたことから「ボマちゃん」という愛称がつけられました。懸命な処置のおかげで一命はとりとめましたが、視力を失い、骨折の影響で顎の噛み合わせもずれてしまいました。それでも毎日の流動食の給餌や投薬治療で、体重も増加し容体も安定してきました。しかし、まだまだ処置や容体確認が続くことから、過去にアマミノクロウサギの飼育展示、繁殖に成功した当園へ移送し長期的な処置を継続することになりました。

保護当時の体重は約800gとまだまだ小さく弱々しかったですが、5月末には1,700gを超えました。島民の方や地元獣医師、そして地域の動物を保護保全する環境省や動物園が一体となって、小さな命を救うことができました。後遺症や体調にもよりますが、いつの日かどのような形であれもう一度、生まれ育った徳之島へボマを連れていくことができればと思っています。

イベント実施報告

ヒツジの毛刈りイベントを行いました!

ヒツジは毛が一生伸び続ける動物です。ヒツジの毛はウールのセーターやマフラーなどになる毛糸の原料です。夏の暑い時期にウールのセーターなんて、着られないですよね?そのため、一年に一度暑くなる前に、毛刈りを行っています。今年は4月9日(土)、10日(日)の2日間、ヒツジの毛刈りイベントを行いました。ヒツジの毛刈りは、ヒツジを保定(動物が動かないように押さえること)し、ヒツジ用の電動バリカンを使って刈っていきます。ヒツジのお話を聞きながらの毛刈り見学、そして刈られたヒツジの毛の重さを当てるクイズ大会もありました。涼しそうになったヒツジたちは、このまま暑い夏に突入します。モコモコしたヒツジは想像がつくと思いますが、毛の短くなったヒツジは動物園の夏の風物詩になるかも!?



▲バリカンで一気に刈っていきます!



▲スッキリしたニコちゃん。
この春生まれた子ヒツジたちも待っています!

4月19日は「飼育の日!」飼育の日のイベントを行いました!

4月19日「飼育の日」は2009年に公益社団法人日本動物園水族館協会が定めた日で、飼育の仕事を知ってもらうことで、動物園や水族館の役割を知っていただくことが目的です。「ゾウのターゲットトレーニング公開」では、展示場でのトレーニングを公開しました。

トレーニングは動物の健康管理上欠かせません。毎日行っているトレーニングを紹介し、ゾウと飼育員の信頼関係の大切さを知っていただきました。また、4月にオープンしたどうぶつ学習館では飼育員のお仕事道具を紹介しました。「一体これは何に使うんだ?」というような道具も、動物の健康管理や飼育員の安全にはどれも欠かせない物ばかり。「飼育」の奥深さを知っていただけたのではないのでしょうか?



▲間近でみるトレーニングはゾウと飼育員の信頼関係が伝わってくるね!



▲消火ホースの中にエサを隠せば、
エンリッチメントになるよ!



▲消火ホースを渡るポビー